

環境衛生課からの お知らせ



吉備庁舎 環境衛生課
清水行政局 建設環境室
52-2111

ごみ分別すれば資源

小型家電の回収にご協力ください！

平成27年2月から使用済み小型家電（以下「小型家電」）のリサイクルが始まりました。

ボックスに投入された小型家電は一定量がたまるまで町で保管し、その後リサイクル業者の回収拠点まで運び込みます。平成27年2月から現在まで3回の運び込みを行った結果が左記の表です。

小型家電の回収量と再資源化量		
品目	重量 [kg]	個数 [個]
小型家電回収量	2,062.70	-
携帯電話など	16.82	154
PC など	784.74	163
再資源化量	1,688.12	-
鉄	715.08	-
アルミニウム	97.65	-
銅	121.78	-
金	0.04	-
銀	0.21	-
鉛	1.79	-
ビスマス	0.01	-
アンチモン	2.36	-
亜鉛	11.72	-
カドミウム	0.02	-
プラスチック	737.48	-

※平成27年2月～平成28年11月分
※内訳は例示ですので合計と一致しません

小型家電回収ボックス設置場所



- 吉備庁舎
- 金屋庁舎
- 清水行政局
- 地域交流センター ALEC
- 金屋文化保健センター（現在改装中）

貴重な資源

住民の皆さまの高いリサイクル意識により、合計2,062kgの小型家電が回収されました。これらは鉄など（左記表参照）の金属およびプラスチックとして、合計1,688kgが再資源化されました。

小型家電を燃えないごみとして出すと、細かく破碎された後に鉄だけは磁選機により回収されますが、その他の大部分は埋め立て処分されま

回収対象品目の一例

- ACアダプター
- 電動歯ブラシ
- ドライヤー
- カメラ・ビデオカメラ
- 携帯電話・スマートフォン
- 補聴器
- ゲーム機
- パソコン
- 音楽プレーヤー・テープレコーダー
- DVDプレーヤー
- USBメモリ
- 時計

回収できるものは回収ボックスの投入口(高さ15cm・幅30cm・奥行40cm)に入る大きさで、ご家庭から出る使用済み小型家電に限ります。

す。そのため小型家電に含まれる希少な金属類（レアメタルなど）は使用されることなく失われたままとなってしまう。小型家電をリサイクルすることは、日本では産出しないレアメタルなどを確保するためにも、非常に重要なことなのです。レアメタルなどを含む工業製品は「都市鉱山」と呼ばれ、そのリサイクルの推進が強く求められています。特にパソコンや携帯電話などの情報機器には多種多様なレアメタルなどが含まれており、その電子基盤は「都市鉱石」とも呼ばれています。

「都市鉱石」のよこいん

- ①埋蔵量（含有量）が分かりやすく、鉱脈などの探索が必要ない。
- ②既に精錬、加工されたものであり、多くの場合天然鉱石より高品位である。
- ③天然鉱石の採鉱、精錬に比べ、省資源化、省エネルギー化が期待される。
- ④天然鉱石に比べ、環境に対する負荷が著しく低い。

「都市鉱山」の課題

- ①小型家電は多くの消費者の元に分散している。
- ②有用金属以外の部分が多く、その利用、処理を考えなければならぬ。
- ③解体、分離、選別、抽出にコストがかかり過ぎる。
- ④少量を効率よくリサイクルする仕組みが必要。

特に課題の①を解決するためには住民の皆さま、一人一人の努力が必要不可欠です。燃えないごみとして出すのではなく、小型家電としてボックスに入れれば「都市鉱山」として活用され、未来の環境をよくすることに繋がります。

今後、小型家電のリサイクルにご協力ください。